

(15) コミュニティバスの利用頻度

- すべての年代で「全く利用しない」が最も高くなっている。
- 10代では「週に1~2回」が12.5%とほかの年代よりも高くなっている。

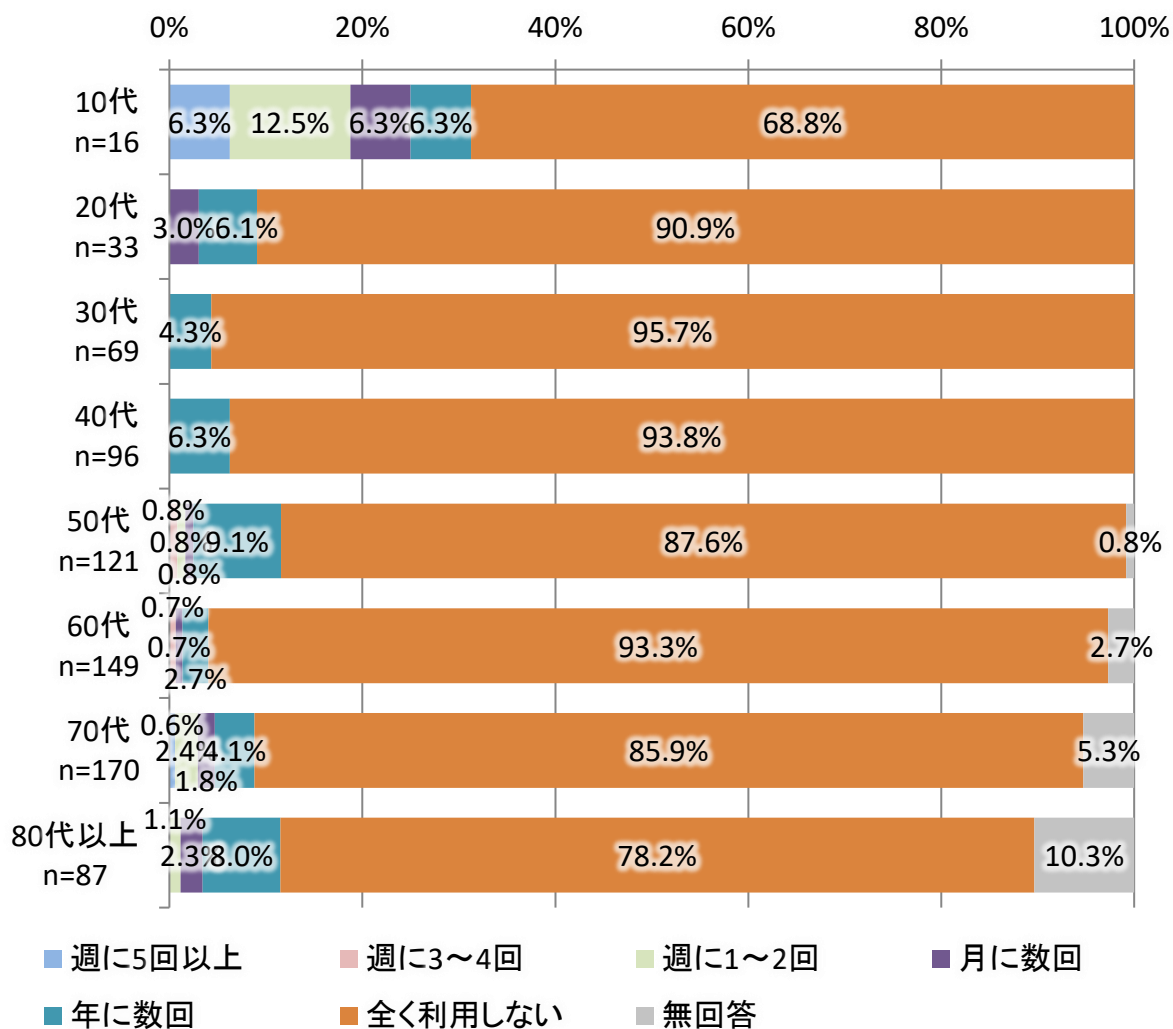


図 年齢別 コミュニティバスの利用頻度

(16) コミュニティバスの今後の在り方について

- 10代で「現在の運行ルートと運行ダイヤを維持してほしい」、「運行本数を減らしてもよいので、ルートを延長し、行ける場所を増やしてほしい」がほかの年代よりも高くなっている。
- 40代以上で「利用者が少ない路線についてはコミュニティタクシーを充実させてほしい」の割合が高くなっている。

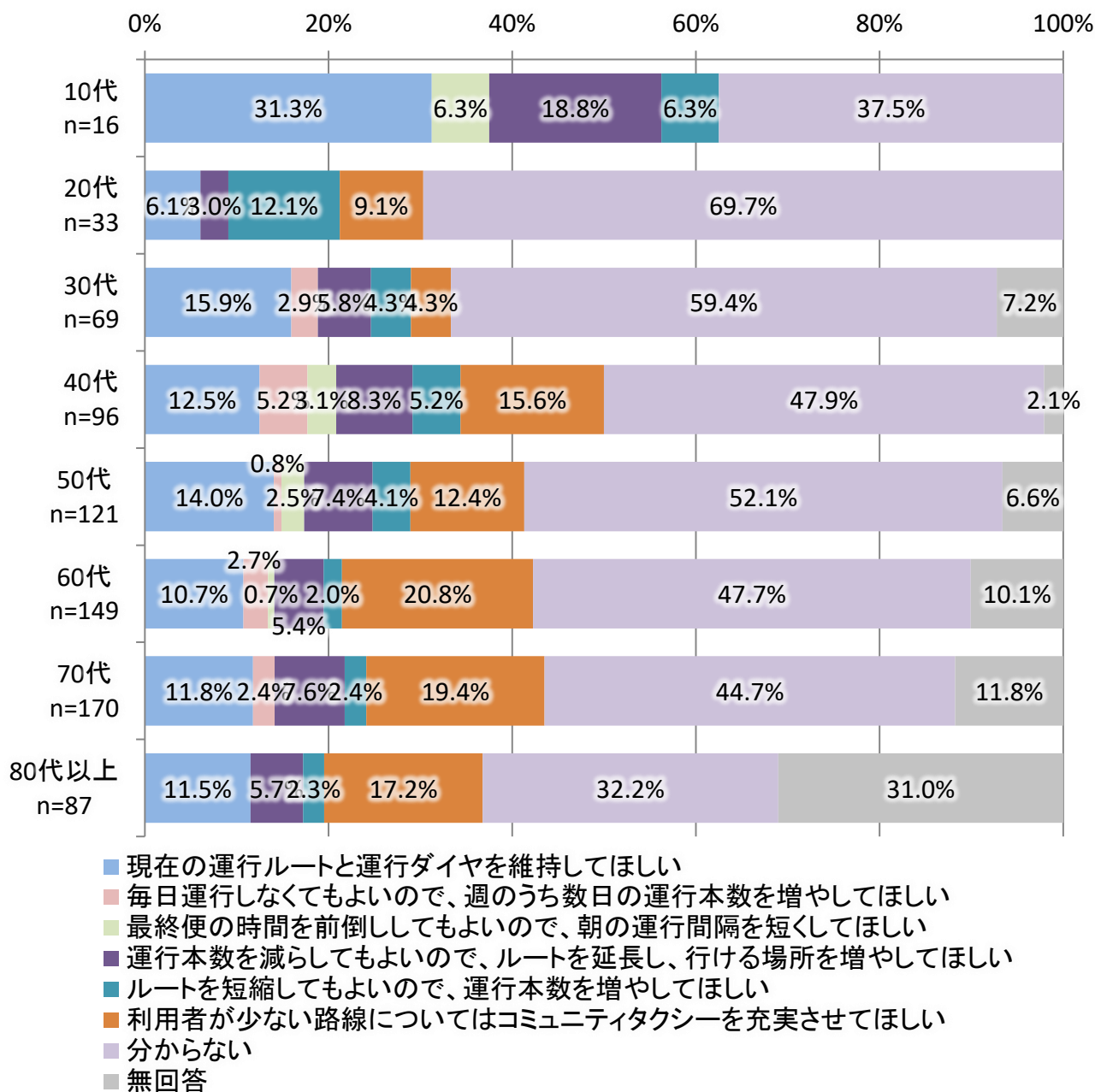


図 年齢別 コミュニティバスの今後の在り方について

(17) 山梨交通の路線バスの利用頻度

- すべての年代で「全く利用しない」が最も高くなっている。
- 10代で「週に3~4回」の利用がみられる。

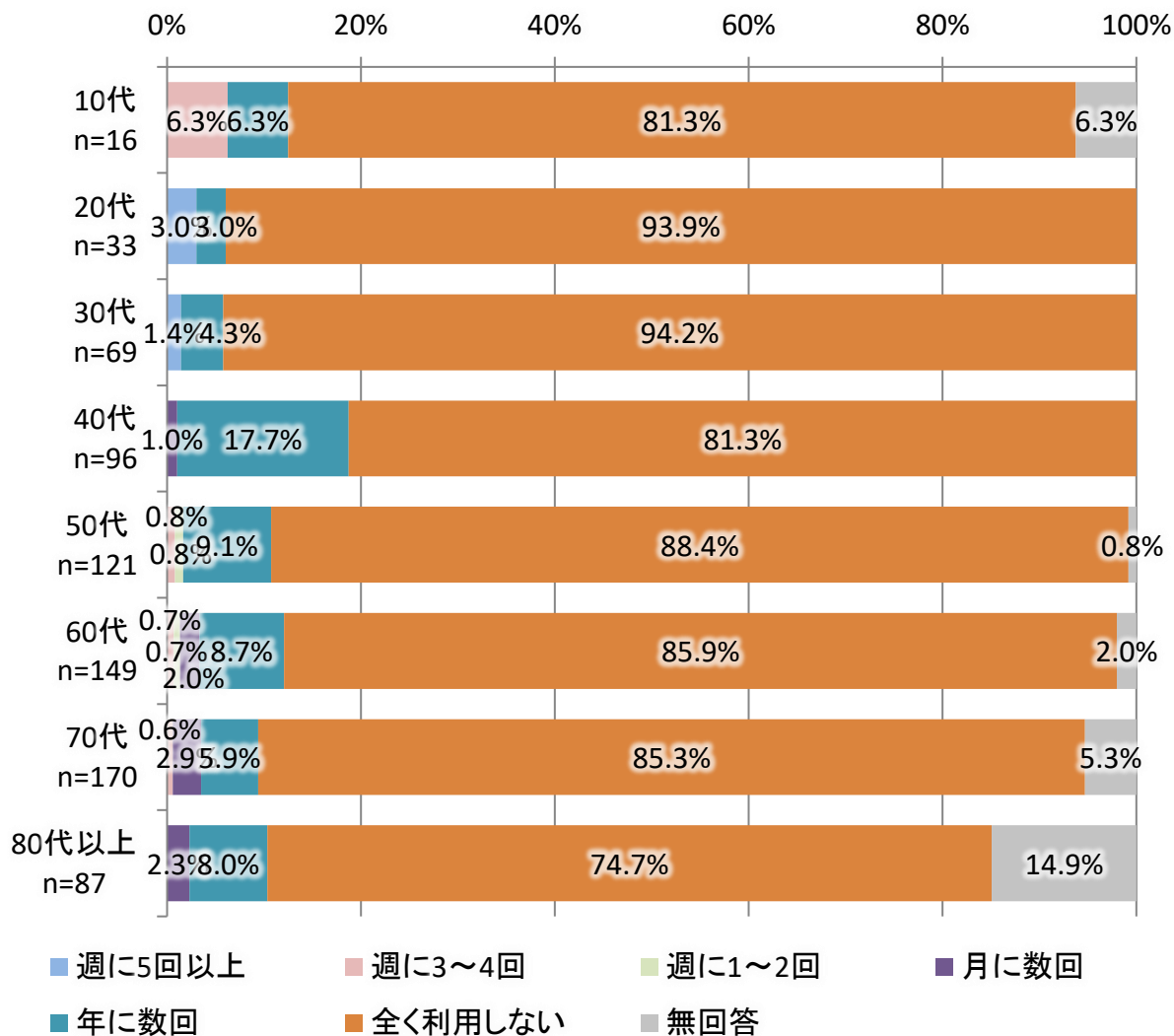


図 年齢別 山梨交通の路線バスの利用頻度

(18) 最もよく利用する区間の利用目的

- 40代、60代で「飲食」での利用が高くなっている。
- 30代で「地域の集まりなど」がほかの年代よりも高くなっている。
- 80代以上では「通院」の割合が高くなっている。

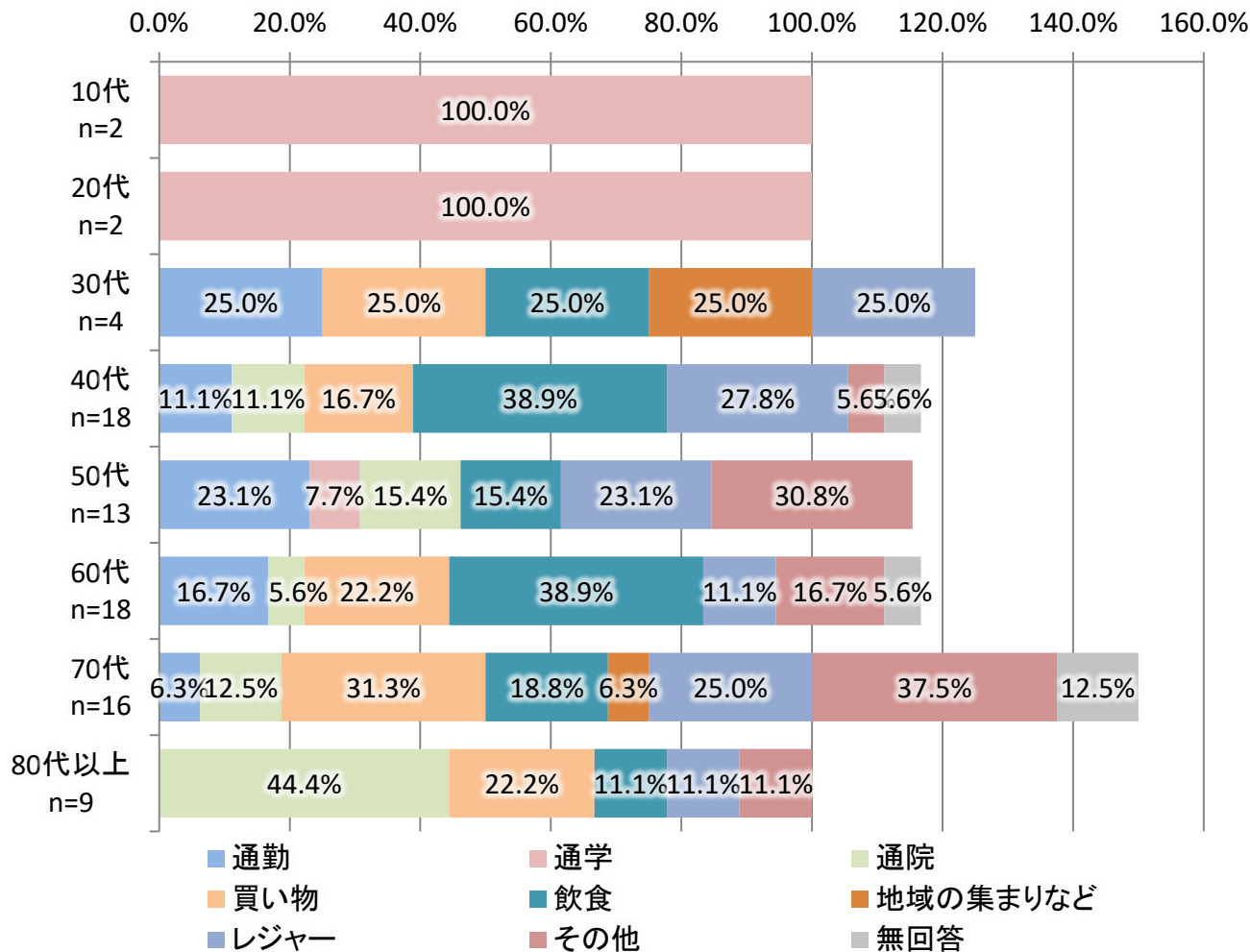


図 年齢別 最もよく利用する区間の利用目的

(19) 公共交通を便利にする考え

- 10代から50代では「現在のコミュニティバスの充実」が最も高くなっている。
- 20代以上のすべての年代で「タクシー助成券の充実」を求める意見も多くみられる。

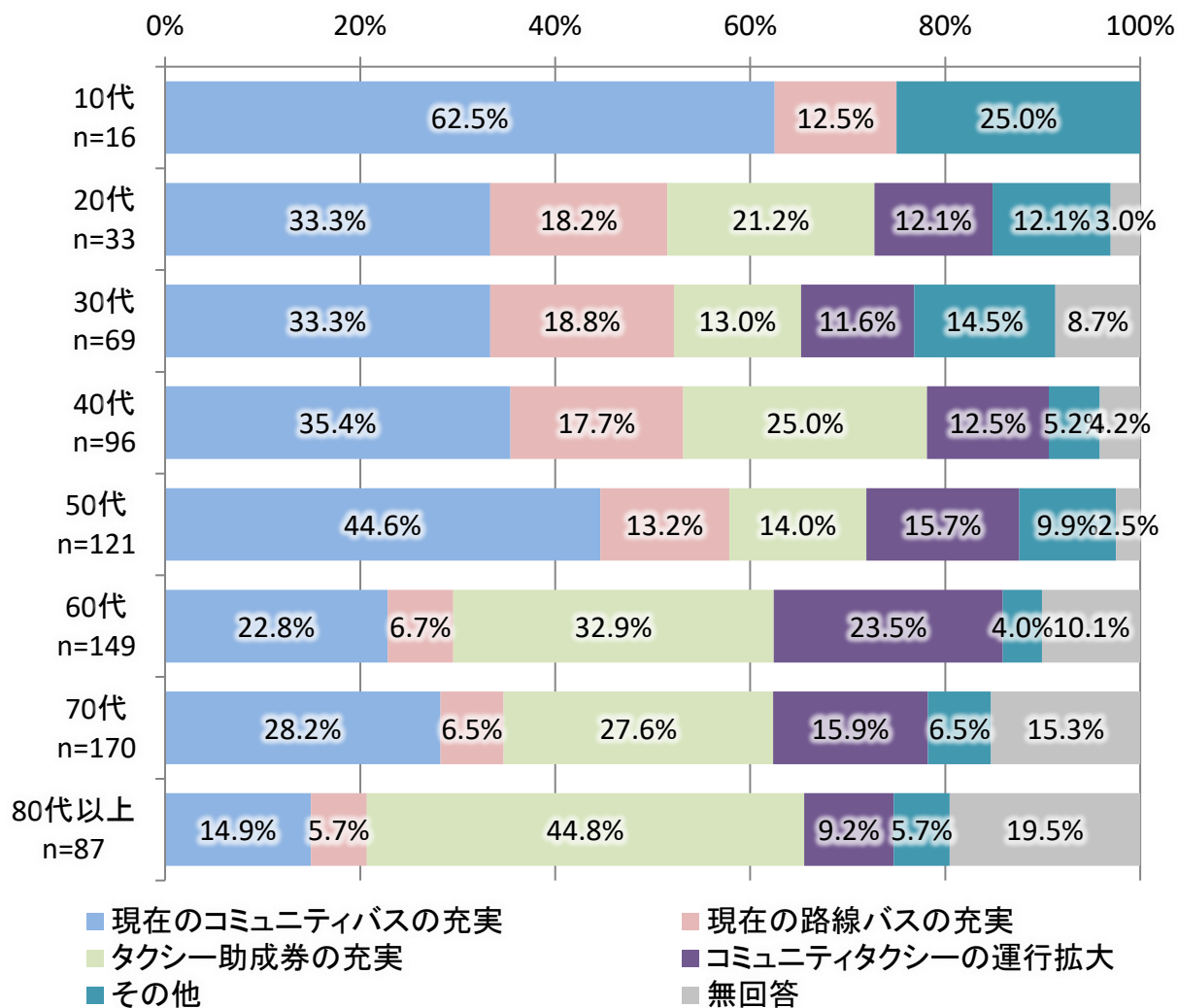


図 年齢別 公共交通を便利にする考え

(20) 便利にしたい公共交通の利用目的

- 20代以上のすべての年代で「買い物」での利用目的が一定数見られる。
- 20代から50代で「レジャー」での利用目的が多くなっている。
- 40代以上は「通院」の利用も多くなっている。

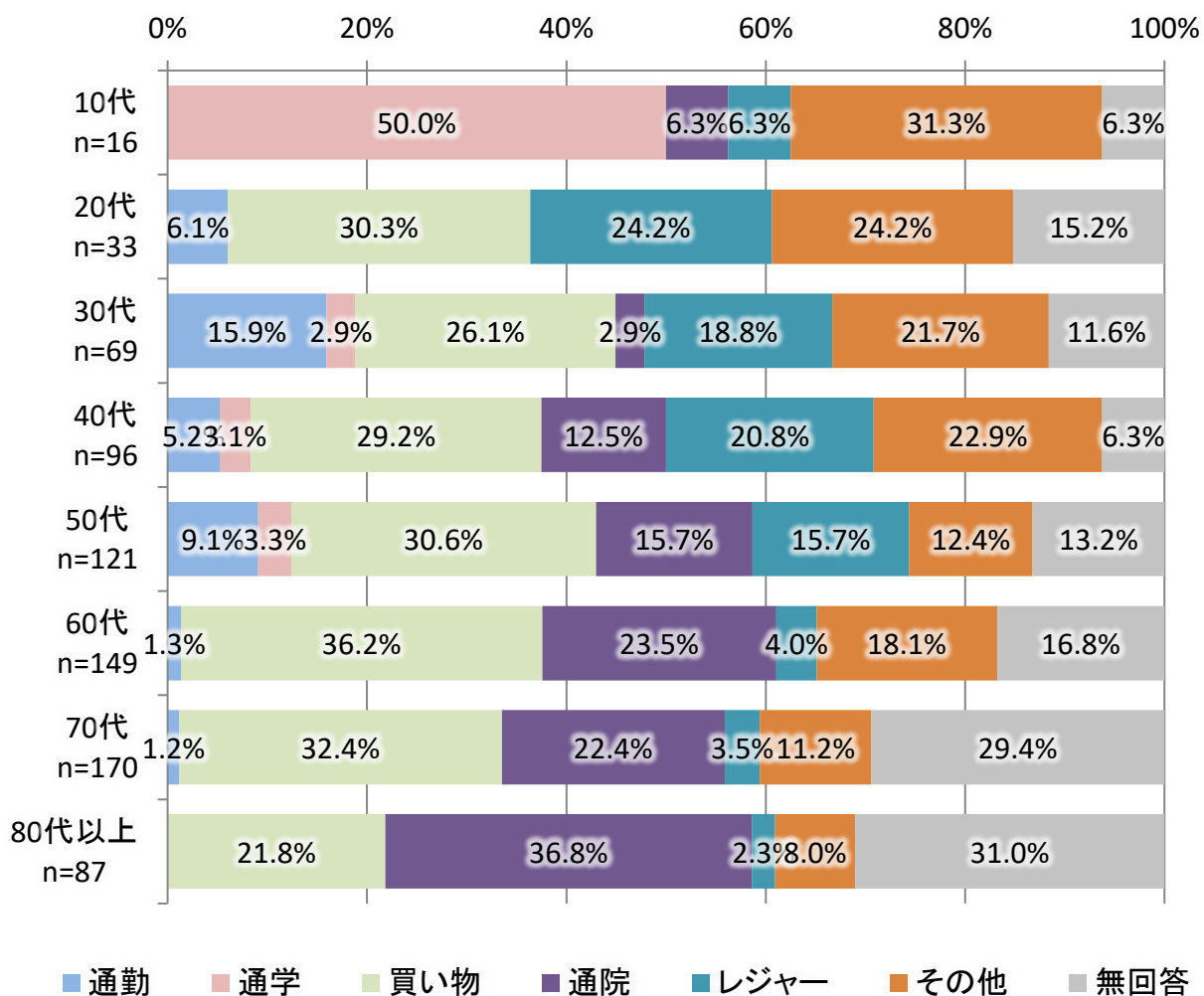


図 年齢別 便利にしたい公共交通の利用目的

(21) 利用目的の利用頻度

- 10代で「週5日以上」が31.3%と最も高くなっている。
- 20代から50代では「年に数日程度」が最も高くなっている。

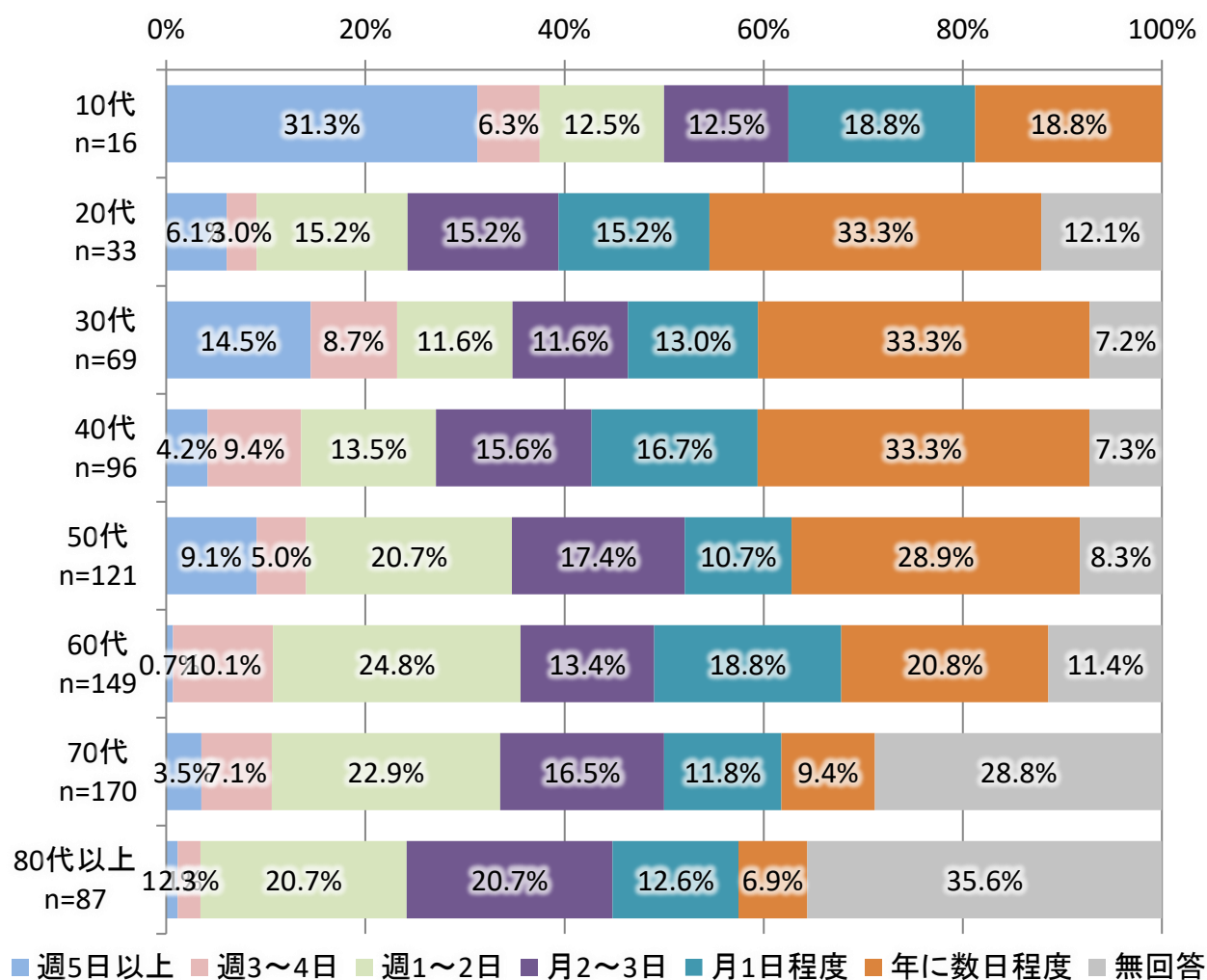


図 年齢別 利用目的の利用頻度

(22) 公共交通を利用しやすくするために"最も"優先してほしい取組

- 10代から50代までで、「コミュニティバス・路線バス・鉄道（竜王駅・東花輪駅）一体型の時刻表や路線図配布」、
「コミュニティバスの路線、便数の拡充」が高い傾向にある。
- 40代以上の年代で、「高齢者タクシー券の理往枚数の充実（配布枚数の拡充）」が多くなっている。

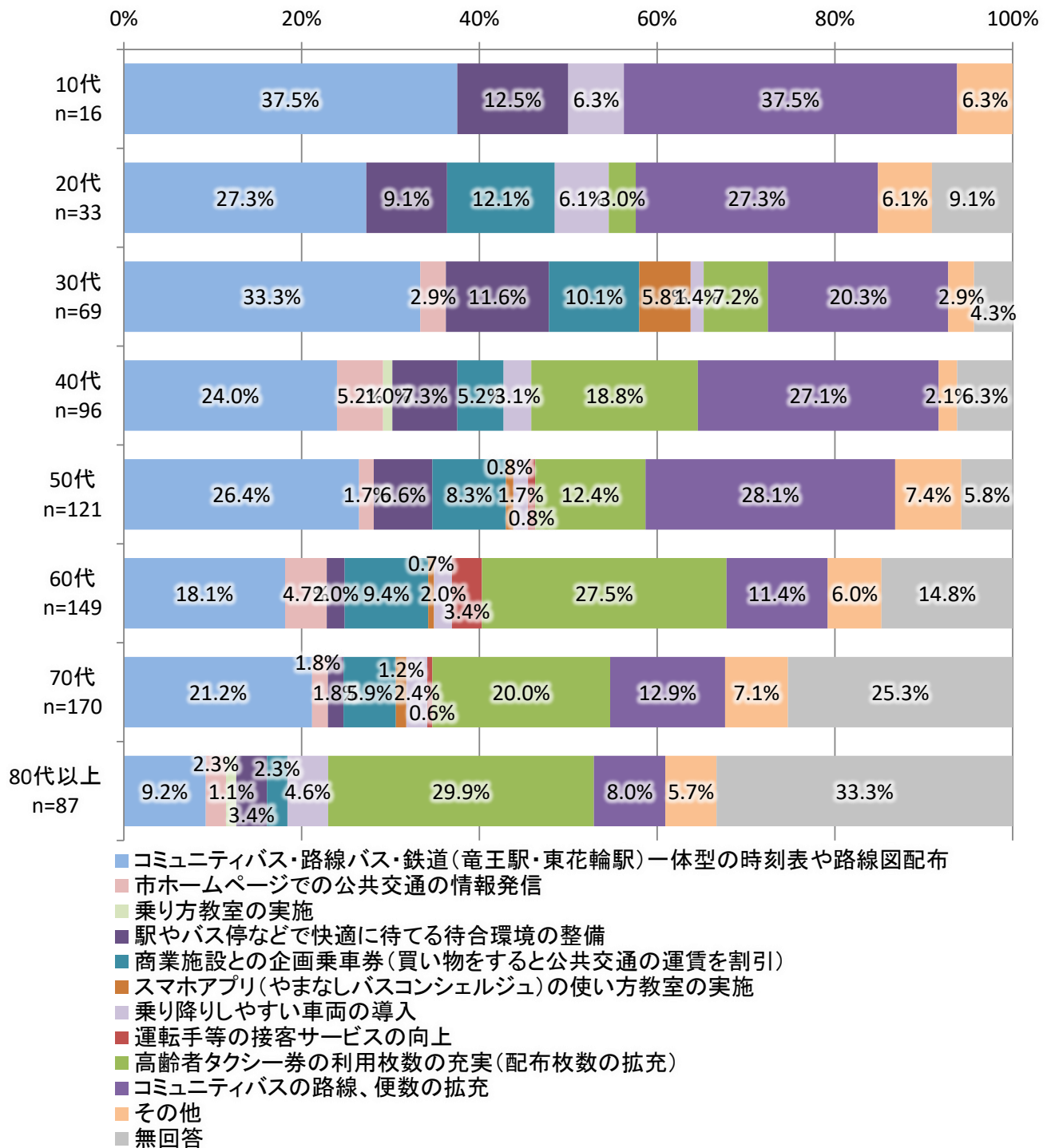


図 年齢別 公共交通を利用しやすくするために"最も"優先してほしい取組

(23) 公共交通を利用しやすくするために"二番目"に優先してほしい取組

- ・40代以下の若い年代で「駅やバス停などで快適に待てる待合環境の整備」を求める意見が多くなっている。
- ・すべての年代で「市ホームページでの公共交通の情報発信」への取組が増加している。

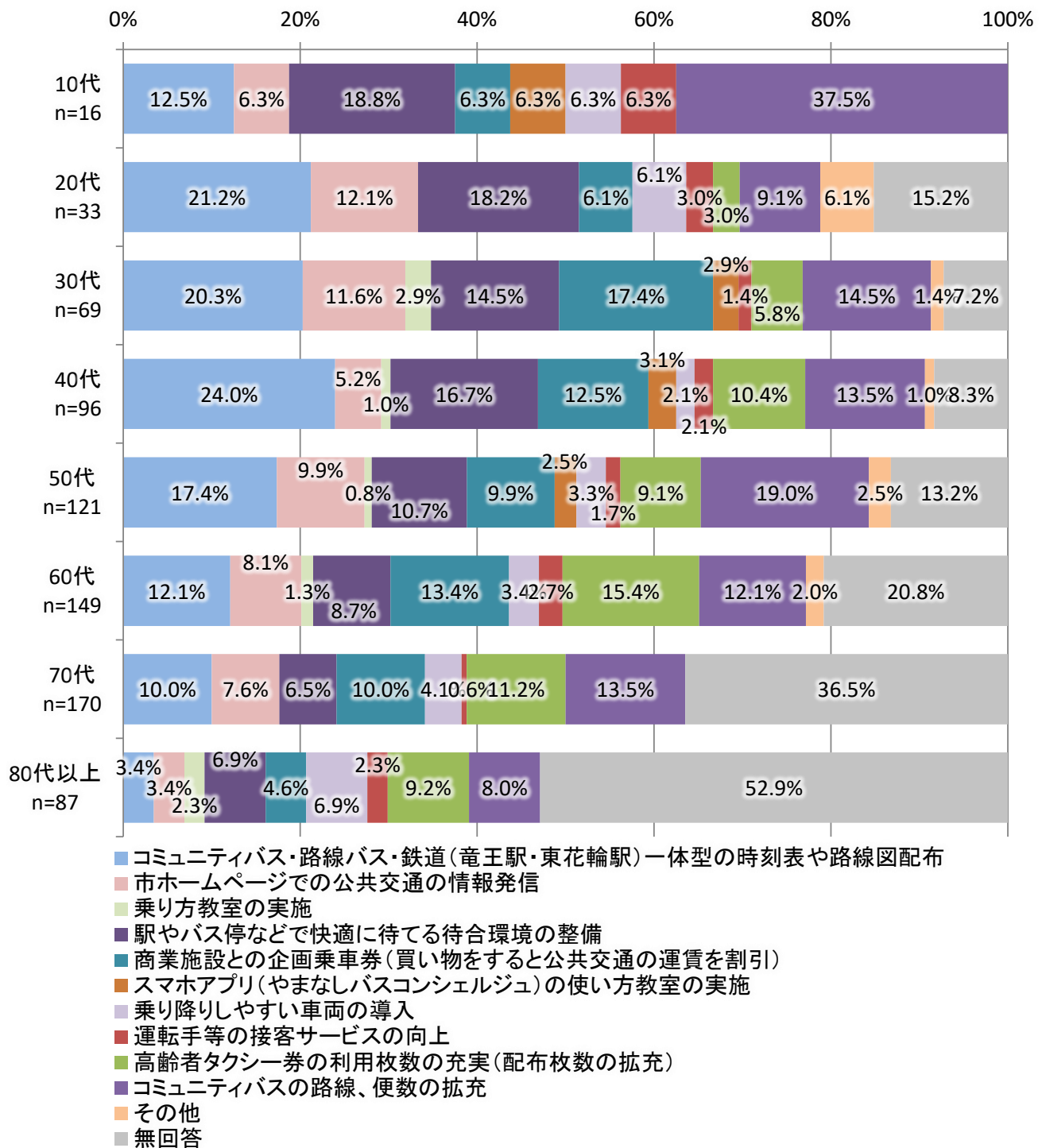


図 年齢別 公共交通を利用しやすくするために"二番目"に優先してほしい取組

(24) 公共交通を利用しやすくするために"三番目"に優先してほしい取組

・「乗りやすい車両の導入」の割合が増加傾向にある。

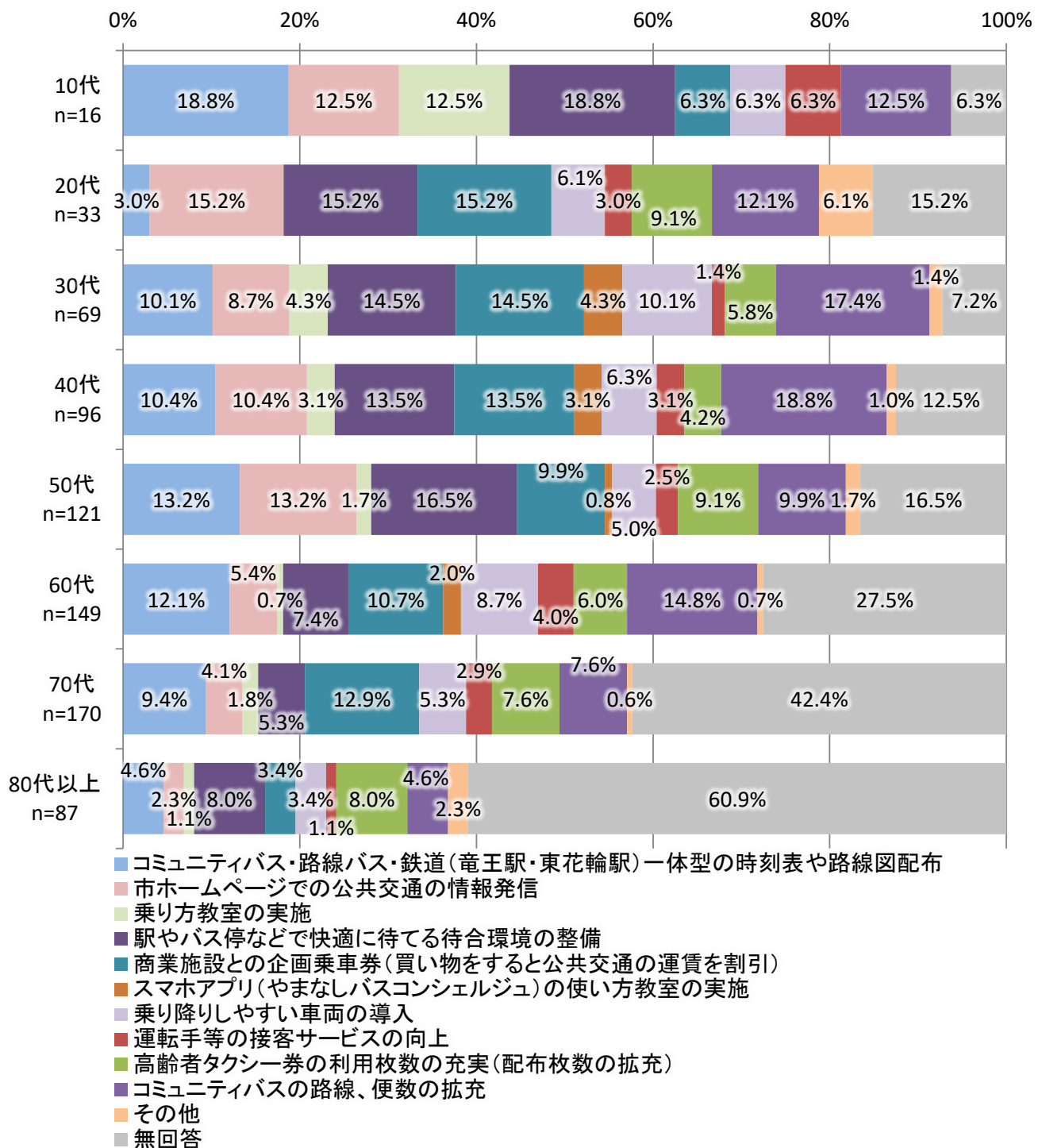


図 年齢別 公共交通を利用しやすくするために"三番目"に優先してほしい取組

(25) コミュニティタクシーの利用意向

- 40代以上のすべての年代で「利用すると思う」が50%以上と高くなっている。
- 80代以上では、「すでに利用している」も一定数見られる。

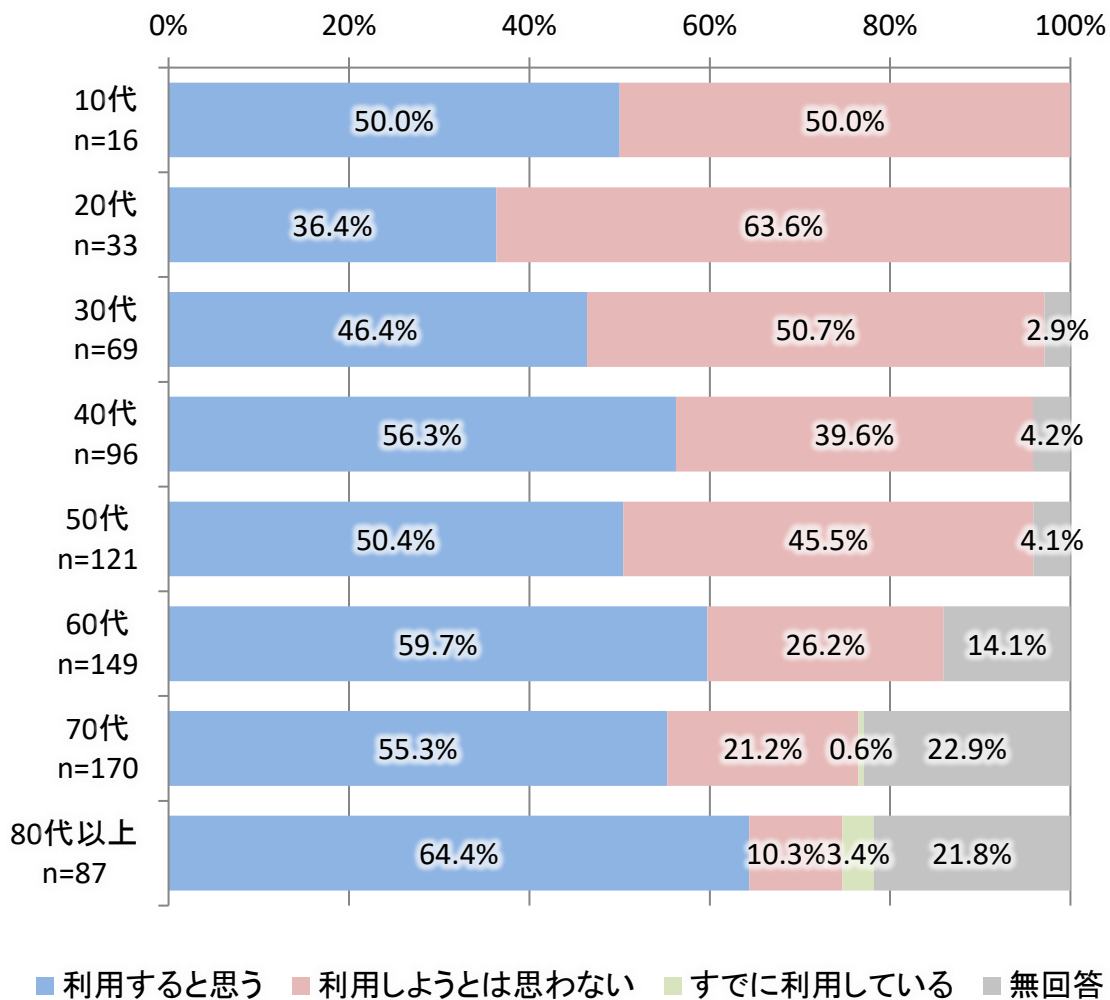


図 年齢別 コミュニティタクシーの利用意向

(26) コミュニティタクシーを導入する場合、運営委員としての活動意向

- すべての年代で「活動したいとは思わない」が50%以上と高くなっている。
- 30代では「報酬があれば活動したい」が30%を超えており、比較的高くなっている。

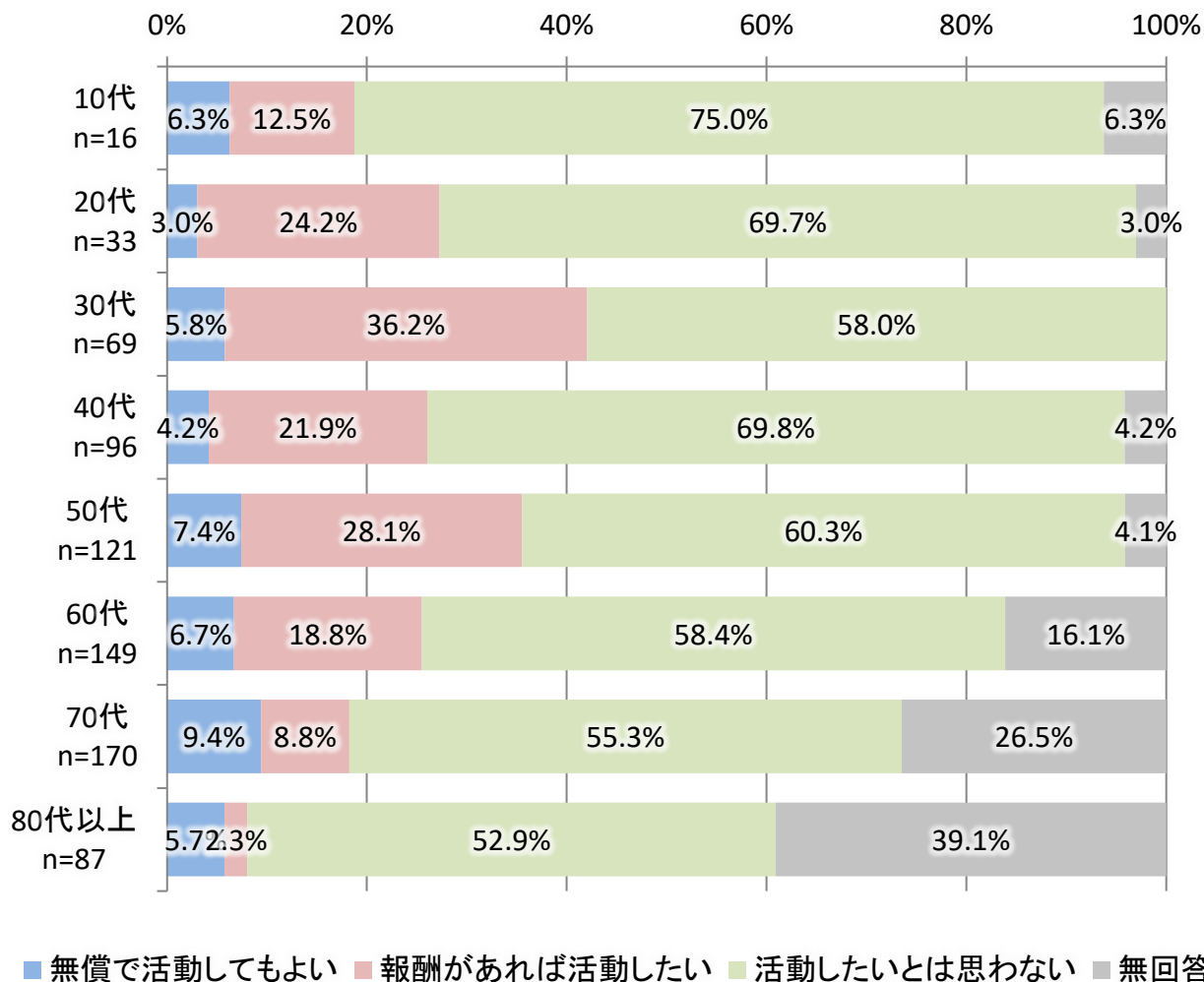


図 年齢別 コミュニティタクシーを導入する場合、運営委員としての活動意向